

第40回日本レーザー医学会総会



会長：浜松医療センター・消化器外科 西脇由朗

テーマに「日本の未来を拓くレーザー医学」を掲げ、特別講演として東京大学の合田圭介教授に「AIセルソータが拓く新世界」を話していただいた。細胞レベルでの確実にスピーディな鑑別、仕分けの話で、明るい未来を予感させた。京都大学宇治彰人先生に「網膜微小循環の観察」、獨協医科大学中村哲也教授に「レーザー専門医と新専門医度」を教育講演していただいた。40周年特別企画として、シンポジウム「レーザー医学を発展させるためのPositive Thinking」を催し、会場内に学会40年を振り返る展示を行った。浜松ホトニクス中央研究所ツアーも企画した。シンポジウム 13 (65演題)、要望演題 7 (26演題)、演題総数124題で構成した。今回、ポスター発表の時には他のプログラムは設けず、多くの参加者をポスター会場に誘導するようにした。最終的に400名近い参加者があった。キャンセルされたプログラム(20分間)のところで、急遽会長講演「Laserと共に歩んできた私の道」をさせていただいた。





